

四中生の一日の生活

わたしたちの生活は、いろいろな行動の積み重ねです。

わたしたちの積み重ねる日常の行動は、きわめて小さなことかも知れません。しかし、一見きわめて小さなものと思われる行動の中に、実は、物の考え方・意味・判断・性格というような、その人のもっているすべてが含まれていることを見落としてはならないのです。

そして、小さな行動の積み重ねによって人間は作られるものであるということを忘れてはなりません。ここにあげた「四中生の一日の生活」は中学生としてあるべき「行動」と「心得」です。

個人の行動・学校集団の行動を通して、一人一人がしっかりした立派な人間として成長することを願って、この「四中生の一日の生活」がつけられました。

1 登校

(1) 登校のあいさつをする。

○ゆとりをもって家を出る。

・始業時間〔8:10〕5分前に着くようにする。

(2) 通学路の通行を守る。

○自転車通学者

・並列進行をしない。

・校門前で下車、校内は乗らない。

・見通しが悪い所では、必ず一時停止をして、飛び出さない。

○徒歩通学者

・横に並んで歩かない。

・見通しが悪い所では、必ず一時停止をして、飛び出さない。

(3) 昇降口にて。

○靴箱に靴を入れる際には、靴のかかとをそろえて入れる。

2 始業前

(1) 始業の準備をする。

○個人として

・教科書・学習用具の準備、ロッカーの整理をきちんとする。

・家庭学習ノート、生活ノートを準備し、毎日提出する。

○係として

・係分担の仕事を点検・確認する。

○日直として

・簡単に清掃と整理整頓をする。

3 朝の活動

(1) 登校後速やかに読書(自習)を開始する。
(8:10～8:20)

(2) 定刻に朝の学級活動をきちんと始める。
(8:20～8:30)

(3) 朝の会に一番大きな声であいさつをする。

(4) 集会の移動は教室前廊下に整列し学級毎に移動し、敏速に集合する。

4 授業

(1) 授業の開始・終了の定められた時刻を守る。

○チャイムの3分前には着席し、学習の準備をして先生を待つ。

(2) 授業の始めと終わりには必ず起立して、頭を下げて礼をする。

○きちんと心のこもった態度で行う。

○起立、「これから○時間目の授業を始めます」、「お願いします」、礼、着席。

(3) 授業中の態度

○それぞれの教科のその時間の目標をはっきりもって授業にのぞむ。

○姿勢を正しくする。

・書くとき・読むとき・話を聞くとき

○鉛筆を正しく持つ。

学習の心構え

- 1 学習の準備をしっかりしよう。
- 2 真剣に聞こう。
- 3 進んで話そう。
- 4 おちついた態度で学習しよう。

5 休み時間・昼休み

(1) 次の時間の準備をする。

○特別教室への移動は静かに整然とする。

・教室をあけるときは、机やイスを整え、消灯、施錠をする。

○室内では静かに過ごす。

(2) 昼休みは有効に活用する。

(13:15～13:35)

○外に出て体を動かす。

○図書室で読書をする。

6 給食

(1) 配膳をする。(12:30～12:45)

○衛生的に準備をする。

・当番は分担を能率的に。

(白衣、帽子、マスク)

・教室の食堂化を静かに早く。

(テーブルクロス)

(2) 食事をする。(12:45～13:05)

○「いただきます」のあいさつではじめ、

食事のマナーを守って、楽しく。

○「ごちそうさまでした」で終わる。

・机の上をきれいにふく。

(3) あとかたづけ(13:05～13:15)

○四中ジャージに着替える。(13:15)

○「ごくろうさまでした」で終わる。

7 清掃

(1) 清掃準備をする。

○授業終了後、イスを机にのせ、机を運ぶ。

○清掃準備後は、速やかに活動場所に移動する。

(2) 清掃活動

○活動の始まりと終わりは、班長の号令であいさつをする。

○活動は、時間いっぱい行う。

(3) あとかたづけをする。

○あとかたづけ、窓の施錠点検、あとしまつを確実にする。

〈清掃用具・ロッカーの整理と点検〉

8 帰りの活動

(1) 定刻に帰りの学級活動を始める。

(2) 生徒会活動・部活動・学級の活動に参加し、時間までに終了させる。

○カバン・その他の持ち物を活動場所へ持っていく。

○学級の係活動は担任の先生の指示をあおぎ、下校時刻を守って活動する。

○最後に教室を出るものは、室内を整理し窓を完全にしめ、消灯、施錠して出る。

○終了後はすみやかに下校する。

9 下校

(1) 下校時刻を守る。

○部活動の終了の時刻を厳守する。

(2) 通学路の通行を守る。

○登校のときと同様な心得で。

・よりみちをしない。

(3) 東部図書館の利用について。

○図書館の利用のしかたを守る。

○部活動終了時刻には退館して下校する。

《自転車通学のきまり》

1. 自転車通学を希望する生徒は、次の条件をすべて満たす場合、学校長の許可を得て自転車を通学に利用できる。

① 通学距離が学校を中心に半径1.4km以上ある生徒。

② 交通規則を守り、安全運転を心がけることのできる生徒。

③ 交通安全のための講習を受けた生徒。

④ 自転車の点検整備に努め、学校指定の定期点検を行った生徒。

⑤ 「自転車通学のきまり」を守る生徒。

2. 「自転車通学のきまり」に違反したときは、注意指導と保護者連絡をする。その後も改善がみられなかった場合は、長

期間の使用禁止または、自転車許可の取り消しを行う。

3. ドロップハンドル等の自転車は通学用には利用しない。

なお、防犯登録・TSマークのあることが望ましい。

4. 自転車に乗るときは必ずヘルメットを着用し、あごひもを締める。

5. 校内での乗車はしない。

6. 許可を受けた生徒はステッカーを後部反射器付近につける。

7. 自転車は自転車置き場の決められた場所に鍵をかけておく。

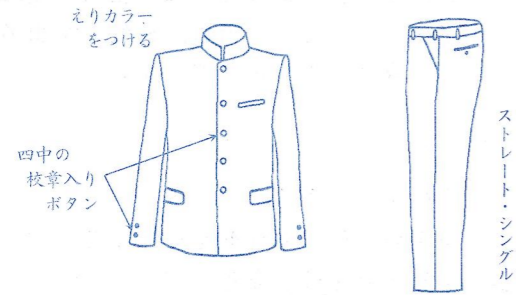
8. 新しい自転車に変えた場合は、速やかに届けて、許可を得る。

9. 変速ギアは内装モデルのみ許可する。

服装のきまり

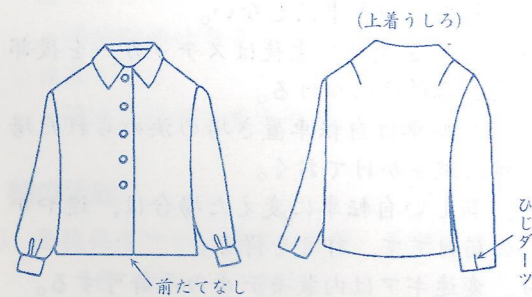
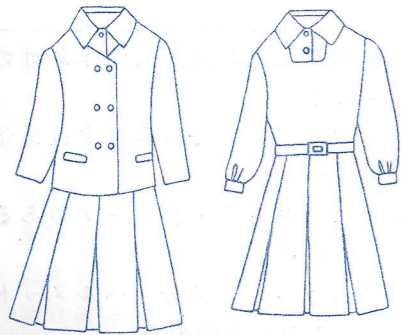
1 標準Ⅰ型の制服

- (1) 市販の黒い学生服 (標準型)
- (ア) 上衣……冬型 (つめえり5つボタン)
夏型 (白開襟シャツまたは白ワイシャツ長袖・半袖)
- (イ) ズボン…夏冬兼用 (すそ幅21cm~25cm)
標準マーク付, ストレート,
シングル, タックなし
- (ウ) 布地……サージ (化繊・混紡・ウール)
- (2) ベルト…黒の無地で装飾のない標準的なもの



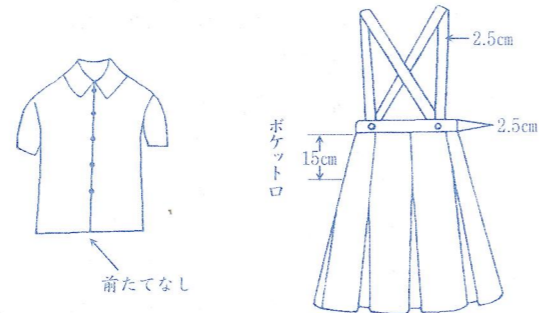
2 標準Ⅱ型の制服

- (1) 冬服
- (ア) ダブル衿なし, 六つボタン
- (イ) ジャンパースカート (濃紺色, ひだ数8つ) 長さは, ひざにかくれること。
- (ウ) 白長袖ブラウス (襟はショールカラー)



(2) 夏服

- (ア) 白ブラウス (襟はショールカラー)
- (イ) つりスカート (濃紺色, ボックス8つひだ) 長さは, ひざにかくれること。



(3) 布地

- (ア) 冬服…サージ (化繊・混紡・ウール)
- (イ) 夏服…リングセル

3 セーター, カーディガン, くつ, くつ下について

- (1) セーター, カーディガン…黒・紺・グレーまたは白の無地
- * セーター・ベストだけの生活は不可
- (2) くつ…通学用 (白を基調とした白ひも付運動靴)
- * 体育の授業に適したもの
 - * 校舎用 (学校規定の上ばき)
- (3) くつ下…黒・紺または白の無地
- * ワンポイント可
 - * 体育の授業の安全性を考えて, くるぶしが見えるソックスは不可
 - * 寒いときは黒ストッキング, タイツ可

4 体育時の服装 (本校規定のもの)

- (1) 冬…トレーニングウェア上下
- (2) 夏…青色ハーフパンツ・白半袖シャツ
- (3) 名札は, 規定のものを左胸に縫いつける。
- (4) 体育館シューズ (本校規定のもの)

5 名札 (本校規定のもの)

- (1) 担任に必要数を申し込む。
- (2) 形式
左胸に付ける。



6 頭髪

- 活動的で衛生的な髪型にする。
- (ア) 前がみ……目にかからない。
- (イ) 後ろがみ……制服のえりにかからない程度。
- (ウ) 肩につくかみはゴムでしばる。
しばる位置は, 耳の高さまで。
(ゴム, ピンの色は, 黒・紺・茶系)
- (エ) 変色, パーマなどの特別な型またはかざり, 整髪料使用禁止。
- ※ まゆ毛をそらない。

7 防寒着

- (1) コート等……黒・紺色・グレー (無地)
- (2) ウィンドブレーカー

8 通学用リュック

- 黒色, または紺色を基調とする。
(カラーラインは縁飾り程度)
- 学用品が傷まないよう, 角形が望ましい。

9 サブバック (黒または紺を基調とする。)

- リュック型カバンに入りきれないジャージや部活動の用具などを入れるものとする。
- 教室のロッカーにリュックと一緒に入れて, はみ出さずに収まる大きさとする。

〈通学用リュック〉



〈サブバック〉



10 その他

- 娯楽施設等へ, 生徒だけの出入りをしない。
- 保護者を伴わない外泊をしない。